



大勢の人が色鮮やかな花火を楽しんだ

希望の花火が夏の夜空を彩る

いなわしろ花火大会

東日本大震災からの復興と、子どもたちに「希望の花火を見せてあげたい」との思いから始まった「いなわしろ花火大会」が8月16日、町運動公園で開かれました。さまざまな種類の花火やスターメインなど2千発の花火が、猪苗代町の夏の夜空を鮮やかに彩りました。花火打ち上げ前には、人気のアニメキャラクターショーやふくしまキッズマンショーが行われ、訪れた家族連れなどがステージイベントを楽しみました。

平和への誓い新たに

町戦没者追悼式

町戦没者追悼式は8月18日、学びいなで行われ、町遺族連合会員ら約50人が参列し、第二次世界大戦で犠牲になった戦没者800余柱の冥福を祈りました。式では、参列者全員で黙とうを捧げた後、二瓶盛一町長が「猪苗代町がこれからも平和で希望に満ちた町であり続けることを願いながら、その歩みを未来へとつないでいかなければなりません」とあいさつ。その後、水上総輝町遺族連合会副会長ら参列者が献花をし、英霊を慰めました。



冥福を祈り献花する二瓶町長

小中高生がお薦めの本を紹介

第9回猪苗代ビブリオバトル

町内の小中高生がお薦めする本を紹介し、発表者と観戦者が投票して最も読みたくなった本を決める「猪苗代ビブリオバトル」が8月22日、和みいなで開かれました。

小学生の部はライアン剣史さん(二小6年)の「保健室の午後」、中学生の部は鈴木陽歩さん(2年)の「かがみの孤城」、高校生の部は岩渕 彪 冨さん(1年)の「コンビニ人間」が最も票を集めた「チャンプ本」に選ばれました。



本の魅力を伝えた発表者

スポーツで親睦を深める

町民球技大会で熱戦

町民球技大会が8月23日に開催され、町運動公園球技場でソフトボール、カメリーナでバレーボールが行われました。ソフトボールでは10チームが2つのリーグに分かれて試合を行い、バレーボールでは4チームが熱戦を繰り広げました。試合の結果、ソフトボールは三城潟チームと合同翁島チームが各リーグで、バレーボールはカワゲタチームが優勝。選手たちは、スポーツを通じて親睦を深めながら、爽やかな汗を流しました。



白熱した試合が繰り広げられたバレーボール競技

楠喜見子さんが100歳に

長寿を祝い、賀寿などを贈呈

7月17日に100歳の誕生日を迎えた楠喜見子さん(三城潟)への賀寿贈呈式は7月21日、楠さんの自宅で行われ、家族らが長寿を祝いました。二瓶盛一町長が、県からの知事賀寿、町からの賀詞と敬老祝金を手渡しました。町内などの小学校で教員を務めていた楠さん。長生きの秘訣は、腹を立てず、穏やかに過ごすこと。「大正(大将)生まれ」が自慢で、好き嫌いなく何でも食べるとのこと。これからもお元気にお過ごしください。



賀寿などを受けた楠さん(前列中央)

作品展示や多彩な体験でにぎわう

学びいな夏祭り

学びいなでは、7月25、26の両日、夏祭りが開かれました。会場内には、学びいなが主催する講座の受講生や体験交流協会員が制作した作品の展示・販売コーナーのほか、ミニS Lの運行、茶道体験、缶バッジづくりなどのブースが設けられました。猪苗代消防署のブースでは、消防士の防火衣を着て「ちびっこ消防士」になった笠間陽葵さんが、「お父さんが消防団員をやっています。将来は消防士になりたいです」と話してくれました。



ちびっこ消防士の笠間さん(右)

10人がそれぞれの思いを発表

青少年の主張猪苗代町大会

青少年メッセージ2026第39回青少年の主張猪苗代町大会は8月2日、学びいなで開かれました。大会には町内の小・中・高校から推薦された10人が参加。家庭や学校での取り組み、考えていること、まちづくりや命の尊さなどを堂々と発表しました。審査の結果、猪苗代第二小5年の加藤悠花さん、猪苗代中3年の郡司紗和さん、猪苗代高1年の豊田こころさんが最優秀賞を受賞。このうち、郡司さんが特別賞に輝きました。



「フラを通して世界へ！」で特別賞に輝いた郡司さん

サギソウを守り、育てる

保存会が展示会を開催、町民に栽培への協力呼びかけ

亀ヶ城公園結の里保存会によるサギソウ展示会が8月5日から14日まで、町役場の町民ホールで開かれました。町の花「サギソウ」は、美しい花であることから乱獲が相次ぎ、現在ではほとんど見られなくなっています。こうしたサギソウを守り育てようと、保存会では毎年、町民に球根を無償で配布し、栽培への協力を呼びかけています。副会長の中村正さんは「楽しみながらみんなで育てて、サギソウを増やしていければ」と、思いを語りました。



長年にわたりサギソウの保全に取り組む中村さん